



学校教育目標 やる気 思いやり げん気	★霞ヶ関南小学校はこんな学校を目指します★ 目指す学校像 学ぶ楽しさ・生きる喜びを実感できる学校 目指す児童像 学ぶ楽しさ・生きる喜びを実感できる児童 目指す教職員像 学ぶ楽しさ・生きる喜びを実感できるよう導く教師
児童のキャッチフレーズ ～ <b>み</b> んな <b>な</b> かまだ <b>み</b> んないい～	

## 最後までやり抜くことができる児童の育成

校長 松本 礼香

令和 8 年度が始まりました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。1 年生 38 名を迎え、全校児童 212 名の霞ヶ関南小学校がスタートします。気持ちよく今日をスタートできるように 4 月 6 日には 5・6 年生が新しい教室に机やイスを運んだり、学校の中をきれいに掃除してくれたりしました。作業の様子から、高学年としての責任ある行動が垣間見られました。本日の始業式では、一つ上の学年に進級した子供たちに、この 1 年間で頑張ってもらいたいことを 3 つ伝えました。

1 つ目は、「進んで学ぶ」ことです。昨年度も「聴く」ということを全校で繰り返し指導し、子供たちは頑張ってきました。よく先生の話が聴くことができると、「わかった」「できた」という気持ちをたくさん感じることができて勉強が楽しくなるはずです。また、進んで学ぶためには、「時間を守る」ことも大切であると考えます。授業の始まり、終わりの時刻を守り、けじめのある生活ができるよう指導して参ります。

2 つ目は、「相手の気持ちを考える」ことです。そのためには、相手の気持ちを考えた「言葉づかい」をすることが大切であると考えます。「これは言っていないかな？」と一度立ち止まって、言葉を選べるよう指導して参ります。また、今年度も次に使う人の気持ちを考えて、丁寧に「掃除」をすることができる子供たちを育てて参ります。

3 つ目は「最後まで頑張る」ことです。「どうせ自分はできない」というマイナスな気持ちを持たず、一歩でも前に進む気持ちになれるよう、子供たちを褒め、認め、励まして参ります。子供たち一人一人には、よいところや可能性があります。諦めずに挑戦すれば、よいところをもっと発揮できたり、気付かなかった力が大きく伸びたりします。新しい自分に出会い、将来の夢につながっていきます。前向きな気持ちで何事にもチャレンジできる子供たちを育てて参ります。

令和 8 年度の重点を昨年度と同様「最後までやり抜くことができる児童の育成」としました。子供たち一人一人のよさを伸ばし、「わかった」「できた」「自分にはこんなよいところがあったんだ」のような、たくさんの驚きや発見、子供たちの笑顔あふれる学校となるよう努めて参ります。

令和 8 年度の霞ヶ関南小学校は、こんな学校を目指します。

### 【学校教育目標】 やる気 思いやり げん気

- やる気 (知) <学びづくり> : 自ら進んで学ぶことができる子
- 思いやり (徳) <心づくり> : 相手の気持ちを考えることができる子
- げん気 (体) <体づくり> : 最後まで頑張る子

子供たち一人一人が持つよさや可能性を伸ばし、最後までやり抜く児童を育てるために、全教職員による「共通行動・共通指導」を土台として、「熱意」「創造」による学校経営を行っていきます。

教職員一同、保護者・地域の方々の期待に添うべく精一杯努力して参ります。

どうぞよろしくお願ひいたします。